

ひ お き

2010. 6

vol.62

HIOKI-City <http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

主な記事

市制5周年記念式典	2
地デジ相談会・説明会のご案内	4
共生・協働の地域づくり	5
消防ひおき	6
自治会長の紹介	8
まちづくりアンケートについて	10
まちの話題	11
市民の広場	18



祝日置市市制施行5周年記念式典



来賓

▲市民歌を披露する伊集院小と伊集院北中、市内コーラスグループの皆さん



▲力強い演奏でオープニングを飾った吹上青松太鼓保存会の皆さん

市制5周年を祝い

記念式典を開催

5年間の歩みを振り返り、
新たな飛躍を誓う

日置市誕生五周年を祝う記念式典が五月二十二日、伊集院文化会館で開催され、招待者をはじめ県や市の行政関係者、一般参加者など約六百人が参加しました。

オープニングアトラクションは、吹上青松太鼓保存振興会が力強い太鼓の演奏を披露。続いて、日置市の歴史と豊かな自然や市誕生から五年間の歩みをまとめたビデオが上映されました。

また五周年を記念して制定された市民歌「光り輝く日置市」が伊集院高校音楽部と伊集院中学校、伊集院北中学校の吹奏楽部によって演奏された後、加治木高校教諭の下茂大二郎さんとソプラノ歌手の加治屋園子さんによる独唱が、伊集院小と伊集院北中、市内コーラスグループによる合唱がそれぞれ披露されました。

式典では、宮路市長が「市民の皆さまに信頼され続ける自治体として、独自性や豊かさとのりを実感できる、魅力ある日置市の建設を進めていきたい」と式辞。成田市議会議長が「地方分権が進む中、多くのことを解決して乗り越えていかなければならない。住んでよかったと実感できる日置市建設のため、市議会としても努力していきたい」とあいさつしました。

次に「市民歌」歌詞入賞者表彰が行われ、応募総数百二十三点の中から最優秀賞に輝いた石井昭吉さん（愛知県）と優秀賞二人、特別賞に選ばれた二人の方々にそれぞれ表彰状が贈られ、「市民歌」作曲者の京都教育大学名誉教授の藤島昌壽先生に感謝状が贈呈されました。最後に来賓祝辞が行われ、式典の幕を閉じました。

日置市民歌が誕生

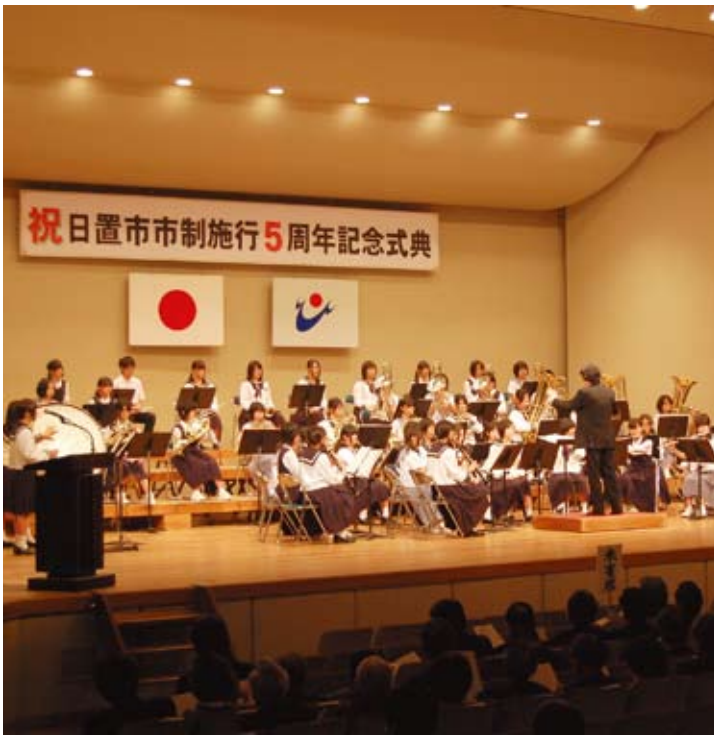
昨年の五月から六月にかけて、全国から応募のあった「日置市民歌」が、このたび日置市民歌制定委員会で決定し、日置市発足五周年記念式典で発表されました。
市では、より一層の一体感醸成のため、これから新しいシンボルとして活用していきます。



▲最優秀賞（歌詞）に輝いた石井昭吉さん



▲市民歌作曲者の藤島昌壽さん



▲市民歌を演奏する伊集院高校音楽部と伊集院中学校、伊集院北中学校の吹奏楽部の皆さん

「市民歌」歌詞入賞者

(敬称略)

- 最優秀賞 石井 昭吉(愛知県)
- 優秀賞 保岡 直樹(東京都)
- 特別賞 村山 祥江(兵庫県)
- 上江 舞 (伊集院)
- 上池 達男(東市来)

「市民歌」作曲者

感謝状 藤島 昌壽(滋賀県)

「光り輝く日置市」

作詞 石井 昭吉
作曲 藤島 昌壽

一 悠久の歴史 受け継いで

風雨に耐える 黒松に
想い重なる ふるさとよ
人創り 夢創り
光り輝く 日置市は
溢れる笑顔が似合うまち

二 吹上 砂丘 薩摩焼

心を癒す 湯煙に
明日の幸せ 夢馳せる
梅香り 風薫り
ロマン漂よう 日置市は
煌めく自然が 薫るまち

三 面影残る 街道に

妙円寺参り まつりうた
想い伝えて 花と咲く
夢ひらき 明日拓き
若さ煌めく 日置市は
明るい未来に 翔るまち

日置市5年間の歩み

平成17年

- 5月 日置市誕生(1日)
- 市長・市議会議員選挙が執行され初代市長に宮路高光氏と議員30人が決定(29日)
- 7月 市農業委員選挙が執行され人が決定(10日)
- 江口浜海浜公園がオープン一部供用開始(17日)
- 8月 4地域に地域審議会が発足(8日)
- 10月 市消防団結団式(5日)
- 東市来文化交流センター落成(29日)

平成18年

- 2月 日置地区植樹祭(4日)
- 上石津町との友好都市宣言継承締結(11日)
- 3月 県道伊集院日吉線バイパス開通(27日)
- 4月 諏訪之原跨道橋開通(東市来地域)(3日)
- 5月 ふきあげ図書館オープン(11日)
- 日置市誕生1周年記念式典(市民憲章・市花・市木を制定)(20日)
- 6月 上市来中学校体育館落成(24日)
- 7月 伊集院総合運動公園内、サッカー場・伊集院ドーム(仮称)完成(27日)
- 8月 伊集院地域コミュニティバス運行開始(1日)
- 9月 指定管理者制度導入(1日)
- 1月 ゆのもと保育所落成(24日)

- 3月 上市来水源通水(6日)
- 皆田小学校閉校(東市来地域)(25日)
- 4月 地域包括支援センターを開設(1日)
- 東市来総合運動公園内弓道場落成(22日)
- 6月 市内3郵便局住民票等取り扱い開始(1日)
- 10月 ねんりんピック鹿児島2008交流リハ1サル大会(27・28日)

平成20年

- 2月 日置市観光協会合併協定調印式(25日)
- 3月 美山インターチェンジ開通(31日)
- 永吉出張所閉所(31日)
- 5月 韓国・南原市文化交流友好協力協約締結(韓国・南原市)(1日)
- 7月 妙円寺地域交流センター落成(5日)
- 10月 とくとくひおき券発行(1日)
- ねんりんピック鹿児島2008交流大会(25・28日)
- 11月 韓国・南原市文化交流友好協力関係協約締結(日置市)(1日)

平成21年

- 1月 日置市内4町法人会合併協定調印式(20日)
- 5月 市長・市議会議員選挙(17日)
- 6月 永吉および中川交換局のADSL化(25日)

平成22年

- 1月 乗合タクシー実証運行を実施(18日)
- 3月 伊集院北保育所閉所(31日)
- 4月 日置市診療所開業(1日)

残り1年

「地デジ」へ
もうすぐです

来年の7月24日 正午
すべてのアナログ放送が終了します

現在のテレビ（地上波アナログ）放送は、来年（2011年）の7月24日で、すべて終了し、地上デジタル放送（地デジ）に完全移行します。

地上デジタル放送を視聴するための準備が必要となり、お済みでない方はテレビを見ることができません。

残り1年、もう時間がありません。間近になってあわてることのないよう早めの準備をお願いします。



えっ 地デジにしたのに映らない?!

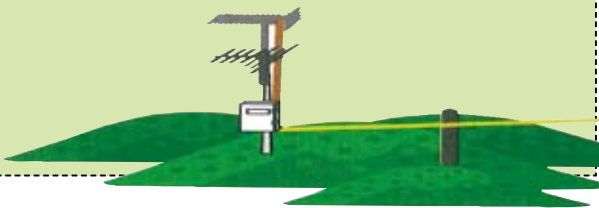
地デジを家庭で見るとは、UHFのアンテナのほか、地デジ対応のデジタルテレビに買い換えるか、今お使いのアナログテレビにデジタルチューナーを買い足すかなどの準備が必要になります。

でもそれだけでは安心できません。**準備は整っても、地デジが見れないという地域が発生しています。**それは電波の特性や地理的な要因などによるものです。

鹿児島県地上デジタル推進協議会では、そうした地域の把握に努め、対策を進めていますが、完全に把握するには個々の情報提供も必要です。

期限が迫ってくると地デジ対策が間に合わない場合も想定されます。地デジへの切り替えは、できるだけ早く、お近くの電器店か家電量販店にご相談ください。

もし、地デジの準備は整ったが、映らないといった状況があれば、早めに市役所か、右に記載のデジサポ（テレビ受信者支援センター）にお問い合わせください。



地デジに関する問い合わせ

デジサポ（総務省テレビ受信者支援センター）では、地域の実情に応じた、きめ細かな相談、説明等を適切に実施していくために、従来の総務省地デジコールセンターの全国共通番号（0570-07-0101）に加え、地域ごとに受信相談受付の電話番号を設置しました。

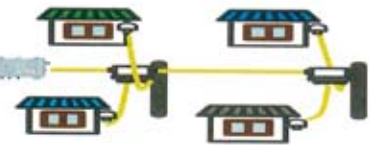
地デジに関する受信相談は、次の電話番号にお気軽にお問い合わせください。

デジサポ鹿児島
099-833-2020

【受付時間】

平日 9:00～21:00

土・日・祝日 9:00～18:00



地デジ相談会・説明会のご案内

まだ、アナログ放送をご覧の皆さまを対象に、「お住まいの地域は地デジが映るのか?」「どうしたら見られるのか?」などの相談を受ける「地デジ相談会」と地デジを体験できる「地デジ説明会」を開催します。事前の申し込みは必要ありません。お気軽にお越しください。

【問い合わせ先】

デジサポ鹿児島 Tel 812 - 8001

市役所企画課 Tel 273 - 2111

◇ 地デジ相談会と説明会の日程 ◇

	会場	相談会	説明会
6月29日(火)	吹上中央公民館 ロビー・和室	10時～16時	14時～15時
6月30日(水)	日吉中央公民館 会議室・大ホール	10時～16時	14時～15時
7月1日(木)	東市来支所 ロビー・第4会議室	10時～16時	14時～15時
7月2日(金)	日置市中央公民館 ロビー・研修室2・3	10時～16時	14時～15時



温もりあふれる 共生・協働の地域づくり 12

自治会による 自治と共生・協働

地縁が取り持つ自治組織

日置市内には現在、自治会が一七八カ所あり、同じ地域に住む住民が参画して、自治が運営されています。

自治会は、地域の課題を、地域の権限と責任と財源で解決できる、自治の基礎的組織です。

平成17年の合併当初、日置市には自治会が274カ所ありました。今年度四月現在では178カ所で、この五年間で96カ所減少しています。

過疎化や高齢化などを背景に、自治組織として維持・存続をするために、近隣自治会と話し合い、自治会統合に積極的に取り組まれたことが要因です。市では、自治会統合交付金（平成21年度までの統合が対象）などでその取り組みを支援しています。

身近に自己決定・自己責任

「遠くの親戚より、近くの他人」「向こう三軒両隣」などと

いわれるように、同じ地域に住む人同士、支えあって暮らしてきました。その一定の区域で、地縁が取り持つ人々が、ルールを決め、役割やお金、労力を分担し合う組織が自治会です。

自治会の運営方法は、会員（人口）や世代構成、地勢などの条件によって、それぞれ異なります。その運営は、すべて自治会という組織が民主的に決定し、自治会の財源で取り組み、その責任を自ら負うという「自治」が、かねてから行われています。

共生・協働を担う市にとっても、高齢化などによって、組織の維持・存続が危ぶまれる自治

日置市自治会長連絡協議会組織体制

日置市自治会長連絡協議会

役職	氏名	地域
会長	濱崎 満洋	東市来
	田中 輝雄	伊集院
副会長	山口 義光	日吉
	榊 秀徳	吹上
監事	久留 俊夫	東市来
	手塚 英司	日吉

地域の理事14人の互選で選出。

会への対応は、大きな課題です。一方自治会未加入者の増加も、自治会運営を足元から揺るがすものです。

行政の最大のパートナー

さまざまな地域課題解決に、自治会の中心となるのが自治会長さんです（8～9頁参照）。会長はリーダーシップを持って自治会運営をしながら、農協や防犯協会など多様な団体の役割

も担っています。

自治を推進していこうと、各地域には自治会長連絡協議会（日吉は自治会）が組織されています。各地域連絡協議会は、年に数回、自治会活動研修会を開き、活動や組織づくり、行政関連など、直面する課題の協議や、情報交換を行います。

また日置市自治会長連絡協議会は、4地域から選出された理事で定期的に理事会を開催。各

地域連絡協議会の相互調整を行いながら、市との連携を図り、自治会活動の活性化を進めています。先日行われた理事会では、五周年を迎える市連協の記念大会を、来年一月に開催することが決まりました。

「自治会は行政の最大のパートナー」と濱崎市連協会長。共生・協働の地域づくりには、足腰の強い自治会組織が不可欠です。

東市来町自治会長連絡協議会選出理事

役職	氏名	自治会
会長	濱崎 満洋	平迫比良
副会長	四元 碩朗	杉之迫
書記会計	山口 政夫	田之湯
監事	久留 俊夫	城之町

連協は全自治会長43人で構成され、各地区選出の理事11人から会長1人、副会長1人、書記会計1人、監事2人を選出。

日吉地域自治会連絡協議会選出理事

役職	氏名	自治会
会長	山口 義光	八幡
副会長	上口 一志	草原
	奥 正行	二湯
監事	手塚 英司	南区

連協は全自治会長18人で構成され、会長1人、副会長2人、監事2人を選出。

伊集院地域自治会長連絡協議会選出理事

役職	氏名	自治会
会長	田中 輝雄	妙円寺2
副会長	酒匂 靖夫	徳重東
	宮川 善徳	飯牟礼上

連協は全自治会長61人で構成され、各地区選出の理事20人から会長1人、副会長5人、書記会計1人、監事2人を選出。

吹上地域自治会長連絡協議会選出理事

役職	氏名	自治会
会長	榊 秀徳	瀬谷
書記会計	満留壽五郎	西本町
理事	原口 三善	花熟里

連協は全自治会長56人で構成され、各地区選出の理事11人から会長1人、書記会計1人、監事2人を選出。

*各地域連絡協議会役員3人と、東市来、日吉から監事1人が市連協の理事です。

*各地域の連絡協議会役員及び理事から選出された上記14人が市連協協議会の理事を務めます。

普通救命講習会を 受講しましょう！！



講習時間は約3時間です。
講習会最後に「講習修了証」を発行します。



人を救えるのは、そばにいる「あなた」です。
突然、心臓や呼吸が止まってしまった人を救うためには、そばに居合わせた人が救命処置をすることが大切です。
救急隊が、到着するまでのわずかな時間が大切になります。
そういうときのために、人工呼吸や心臓マッサージとAEDの取り扱いを学ぶ普通救命講習を受講してみませんか。



AED（自動体外式除細動器）

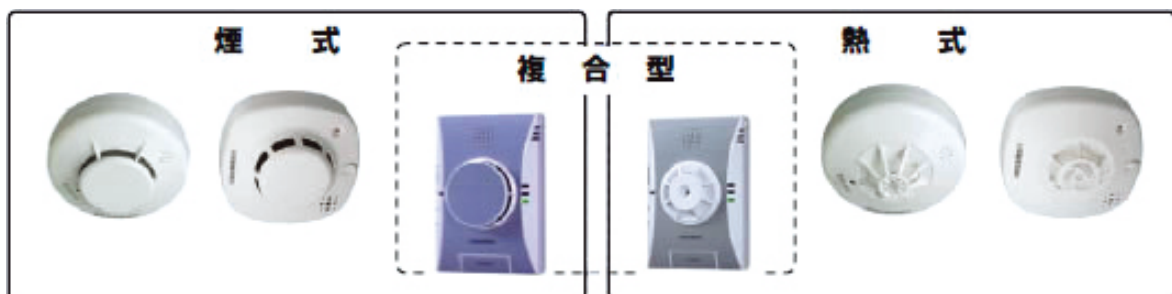
電気ショックを行うための機器です。
自動的に、電気ショックが必要かどうか判断し、音声メッセージで電気ショックを指示してくれます。

2010年全国統一防火標語

「消したかな」あなたを守る 台言葉

住宅用火災警報器は

平成23年5月31日までの設置が義務化されています！



悪質な訪問販売に注意！

消防職員が販売したり、特定の業者に販売を委託したりすることはありません。電気店やホームセンター、消防設備の店などで購入することができます。



熱中症を防ごう



暑さや熱による生体の障害を総称して「熱中症」といいます。
熱中症は、体温の上昇を伴わない日射病と熱けいれん、体温上昇を伴う熱疲労と熱射病に分類されます。
いずれにしても、体調不良を感じたら無理をせず早めの対応が必要です。



熱中症を予防するには・・・

1. 寝不足や体調不良のときは、炎天下での作業や運動は控えましょう。
2. こまめに水分補給（スポーツドリンクなど）と休憩をしましょう。
3. 屋外にでるときは、通気性や吸湿性のよい涼しい服装を心掛けましょう。
4. 自分自身はもちろん、周囲の人も気を付けてあげましょう。

もしも熱中症かな？と思ったら・・・

1. 反応を確認してください。呼び掛け反応がなければ緊急事態です。すぐに119番通報をしましょう。
2. 風通しのよい日陰や、冷房の効いた屋内に移動しましょう。
3. 衣服をゆるめて楽にしましょう。冷たいタオルや氷をいれた袋を、脇の下や太ももの付け根に置いて体を冷やしましょう。
4. 自分で飲めるようであれば、水分補給（スポーツドリンクなど）をしましょう。

◎ 団員募集 ◎

消防団は、わが街を災害から守るという使命感のもと、地域の防災リーダーとして幅広い活動を行っています。

しかしながら、その一方で消防団員の減少や消防団員の高齢化などの問題が生じてきており、その充実強化が最大の課題となっています。

あなたも自分の街、みんなの街、そして大切な家族を守るため、消防団活動に参加してみませんか。

若い方々はもとより、志のある方々の入団を心からお待ちしています。



入団希望者は、消防本部
総務課消防団係まで

【消防本部・消防署への問い合わせ先】

日置市消防本部	消防署	099 (272) 0119
	北分遣所	099 (274) 0119
	南分遣所	099 (299) 3019

救急隊との連携 についてお知らせ

「救急車を呼んだのに消防車が来た」と思われるかもしれませんが、救急隊だけでは処置困難な現場で消防隊と連携して活動します。
火災と間違わないように注意してください。



会長を紹介します!

地域のまとめ役として、1年間よろしくお願いします。

住みよい地域づくりのためには、市民の皆さんの協力が必要です。自治会活動への積極的な参加をお願いいたします。

◆日吉地域自治会長

自治会名	自治会長名	電話番号
二 潟	奥 正行	292-2693
山 田	室屋 栄蔵	292-3081
日 新	今別府利行	292-2976
熊 野	谷山 宏明	292-3886
西 郷	古野 繁盛	292-2923
日 置 麓	宮内 博	292-2189

自治会名	自治会長名	電話番号
帆 之 港	満尾 利親	292-4063
八 幡	山口 義光	292-3230
柿 之 谷	久保 勲一	292-2483
す 諏 訪	赤間 孝一	292-2461
草 見	松元 純市	292-2354
笠 ケ 野	下笠 政文	292-2398

自治会名	自治会長名	電話番号
毘 沙 門	中島 春洋	292-2701
草 原	上口 一志	292-3712
北 区	鳩野 學	292-2054
中 区	鳩野 哲盛	292-3983
南 区	手塚 英司	292-4374
扇 尾	上田平重夫	292-2368

◆伊集院地域自治会長

自治会名	自治会長名	電話番号
か み ほう ぎ り	末永 義弘	272-2352
し ろ う ぞ	福永 安裕	273-1525
し む ほう ぎ り	正木 巖範	273-3558
ふ も と ひ が し	坂下 正行	272-4509
て ん し ん ば	上村 良佑	272-3580
う え の ば	川越 信雄	273-5946
も と ま	山口 清寛	273-1022
む か え	橋口正太郎	273-3525
ち ゅ う お う ど	家村 仲五	272-2815
え き ま	徳留 秋輝	272-2009
ぎ ん て ん ど	家村 紀弘	273-1650
じ ょ う や	浜田 盛遠	272-2689
あ 荒	前田 純正	273-1586
こ じ ょ	鮫島 吉満	272-3973
せ 瀬	上野 義信	272-4654
と く し げ	酒匂 靖夫	273-2024
い 猪	三窪 昭	272-4739
き 清	松崎 弘安	273-2472
こ お り	田代 久雄	273-2025
こ お り	福留 輝美	273-1454
み や わ	平田 昇	272-0568

自治会名	自治会長名	電話番号
な か ぶ く	奥 祐義	273-1516
ひ ら 古	向井 隆之	272-4603
こ お り	林田 榮次	273-1801
お お た か	西原 高晴	272-2563
お お た な	入船 武久	273-1526
お お た し	伊集院 勲	273-1034
く き の	今村 福治	273-6567
い い む れ	上之園浩一	273-6734
こ し	川寄 進	273-2897
せ ん ぶ	益満 富治	273-6791
い い む れ	宮川 善徳	273-3924
い い む れ	高橋 宏明	273-5817
ふ る じ ょ	西山 益穂	273-6475
こ い の	森 俊郎	273-6433
し も つ	和田 文男	273-1928
か み つ	宮下 敏哉	273-9172
な か が	上 勇	273-9656
た け の	前村 勝	273-9450
む ぎ う	吉村 建二	273-1970
か み こ	柳田 秀吉	273-9783
な か こ	福田 徹郎	272-5669

自治会名	自治会長名	電話番号
し む こ う	當山 正吉	272-3962
し む こ う	北之園 忍	272-2079
し む こ う	下御領伸一	273-2925
し む こ う	吉村 忠久	272-5431
く わ ば	重留 茂夫	273-1012
の 野	宮園 光次	273-4847
て ら わ	小山田 恵	273-5090
あ さ ひ	窪田 義次	272-3077
た ち	川畑 巽	273-2389
み ょ う	上園 俊一	273-0802
み ょ う	田中 輝雄	273-2096
み ょ う	萩原 浩一	273-5592
み ょ う	宮原 和夫	272-4066
み ょ う	松元 健二	273-0417
み ょ う	常深 勇	272-5894
み ょ う	五反田敦夫	273-0689
み ょ う	佐多 申至	273-3188
つ つ じ	小川 春夫	273-3545
つ つ じ	前田 唯男	272-0516

平成22年度

自治

◆東市来地域自治会長

自治会名	自治会長名	電話番号
高山	立和名徳文	274-9833
鉾之原	鮫島 秀則	274-6823
立和名	立和名忠身	274-9813
おぎ荻	米澤 正喜	274-9332
北山	北山 義寛	274-9755
上床	馬場口知治	274-0250
た田しろ代	楠生 恭二	274-9730
うめ木	徳重 悟	274-9916
も元養母	上養母義文	274-4412
しもよ養母	野元 正利	274-3805
ふもとか上	永山 喜教	274-2769
ふもとし下	永田 鐵山	274-4653
ふるい市	有川 國廣	274-4939
じょうのまち上	平松 利幸	274-3888
じょうのまち下	久留 俊夫	274-5045

自治会名	自治会長名	電話番号
すぎのさご	四元 碩朗	274-4572
さかのうえした	幾留 治男	274-3694
みやま	東條 良明	274-0521
まきのすい	西 展孝	274-0792
おおびら	脇田 敏秋	274-5192
かいだひがし	鍛冶屋隆雄	274-0605
かいだにし	松尾 光裕	274-1309
まるまき	室屋 恵藏	274-5489
うえのひがし	石原 豊	274-0186
うえのにし	柳園 富甫	274-5755
むか湯ゆだ	山元 登	274-0153
えきぜん	池満 隼人	274-2935
ちゆうおう	國分 隆	274-2478
もと湯	高須 眞一	274-4791
たの湯	山口 政夫	274-1768

自治会名	自治会長名	電話番号
ほりうち	南 宏機	274-1833
かみいざくだ	谷口 則夫	274-9070
もといざくだ	穂満 良照	274-4512
なかいざくだ	肥塚 章弘	274-2527
かきのさご	内田 忠夫	274-3501
えぐく	岡元 義実	274-5402
かわき北	濱田 藤人	274-5433
ひらさごびら	濱崎 満洋	274-0297
あかさき	野村 幸雄	274-2878
たたらぐち	西田 正徳	274-5852
ながや山	浜崎 千尋	274-4064
かみのかわ	永山 修治	274-5146
みなみかみのかわ	檜物 賢志	274-4641

◆吹上地域自治会長

自治会名	自治会長名	電話番号
にしほんまち	満留壽五郎	296-2028
ひがしほんまち	原田 繁	296-2676
さかもと	黒川 紀男	296-2256
たほうじ	大北 節雄	296-4698
ふもと	池上 成年	296-3718
こまき	窪田 繁	296-2970
ゆのもと	下村 俊治	296-5177
みなみゆのもと	田原 嘉治	296-4067
みどりがおか	中村 節子	296-2235
緑ヶ丘	内村 俊彦	296-2176
窪ぼた	濱田 修	296-4095
みやさか	大木下 光	296-3828
かみなかのさと	山下 正成	296-5072
しもなかのさと	樋渡 健郎	296-2563
みなみやうち	平峯 健藏	245-1850
ひがしみやうち	長谷 正明	296-4507
にしみやうち	高田 仁	296-3092
なか津	井上 克己	296-3881
かめはら	原口 三善	296-5123
けじゅくり		

自治会名	自治会長名	電話番号
おの野は	岩元 巖	296-6578
おのばば	幾留 和夫	296-5391
おの野	平原 貞雄	296-5374
しもたじり	下村 盛義	296-5953
なかたじり	山口 正美	296-4625
かみたじり	井之上作次	296-5155
いよの野	岩崎 洋征	296-5702
のく首	宮原 勉	296-3676
しもよくら	城倉 國栄	296-3707
ふ藤しも	四元 久美	296-5483
あかにた	三窪 薩男	296-6160
かみよくら	窪田 和洋	296-5662
たのしり	中馬 三郎	296-6194
いまかんりゅう	馬籠 君夫	296-5175
ひら鹿倉	馬籠 敦男	296-3870
ひそ添	田中 安男	296-6136
おろんくち	東 建次	296-5970
ぜ瀬た谷	榊 秀徳	296-2684
すけしろ	坂口 正視	296-2197

自治会名	自治会長名	電話番号
かみわだ	中村 正	296-5199
なかわだ	上床 耕造	296-2902
しもわだ	妹尾 正信	296-6282
おろおか	下窪 秋男	296-5990
いり来	小園 勉	296-5979
にしはら	中村清一郎	296-2399
いりきはま	上野 正宏	296-4917
いまだ	藏前 鐵郎	296-3336
こながよ吉	赤井田秀和	296-5378
くさたばる	徳満 平吉	297-2837
しもくさた	徳重 政博	299-3713
はま田	島中 貞治	299-3123
かわなか	恒吉 英治	297-2514
しんがわはら	長野 寿郎	299-3556
ながよしちゅうおう	胸元 光盛	299-3431
ながよしひがし	安藤 輝也	297-2759
おしぐく	川口 貞夫	297-2404
ぼ坊う野	高田 正光	297-2640

まちづくりアンケートを実施

日置市総合計画の取り組みについて、市民の皆さまがどのような評価をお持ちか、また、これからのまちづくりに対するご意向やご意見をお伺いするため「市民アンケート」を実施しました。

調査方法

調査は、昨年十二月に市内に居住している、無作為に抽出された十八歳以上の方二千人を対象に調査票を配布し、千四十人の方から回答をいただきました。(表①)。

表①【回収者の状況】

地域	回収数	有効回収率
東市来	249	50.92%
伊集院	471	50.27%
日吉	120	56.34%
吹上	161	46.25%
不明	39	-
計	1,040	52.34%

※ 寝たきりの方や入院または転出などにより配布状態で調査票が戻ってきたため、有効発送数は、1,987人になりました。

調査項目

質問内容は、性別や職業などの基本属性をはじめ、十四の項目について調査を行い、併せて、日置市の市政・まちづくりに対する意見や提案を記入していた

いただきました。

中でも、合併効果を質問した項目では「効果があり」と「やや効果があり」と回答している最も多い項目は「観光や交流活動の活性化」、「地域のイメージアップ」、「公共施設の有効活用」があがっている一方、合併しても特に変わらないという意見が多くを占めました(表②)。

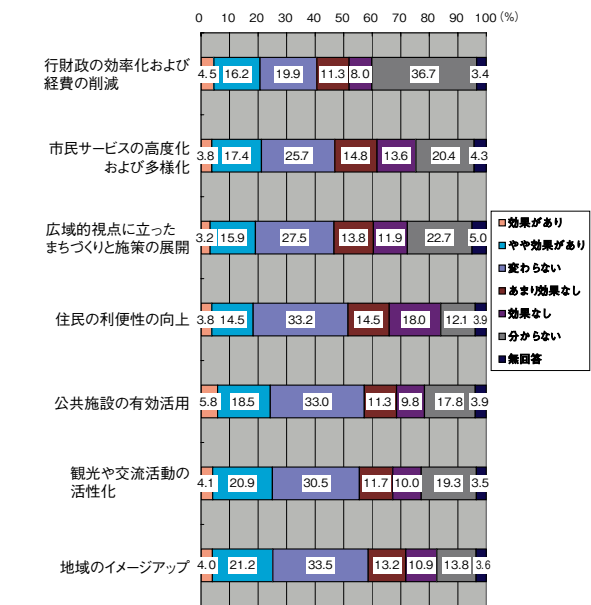
日置市に対するイメージは最も多いのは、「安心して暮らせるまちである」に次いで、「環境が守られ美しいまちである」、「便利なおしゃれなまちである」、「豊かなまちである」となりました。(表③)

健康」と回答する方が最も多く、次いで「安心できる治安のよさ」、「地域での良い人間関係」となっています(表④)。

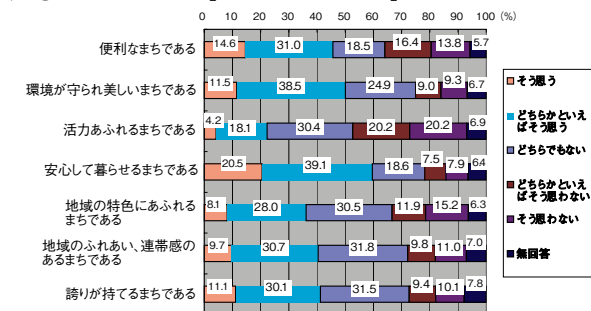
また日置市総合計画を構成する七つの分野で力をいれるべき分野として最も多いのは「子どもから高齢者まで安心して暮らせるまちづくり」に次いで「どこに住んでも不便さを感じない都市基盤づくり」となり、今後の取り組みへの期待では、「商店街の活性化」に次いで「就業機会の創出」、「企業の誘致と育成」となりました。(表⑤)

快適に居住できる都市づくり

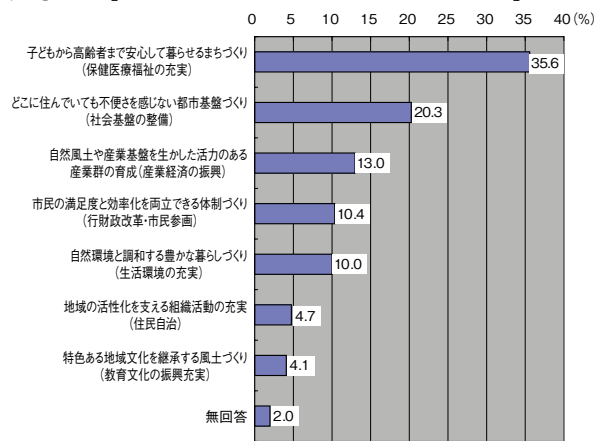
表②【合併効果について】



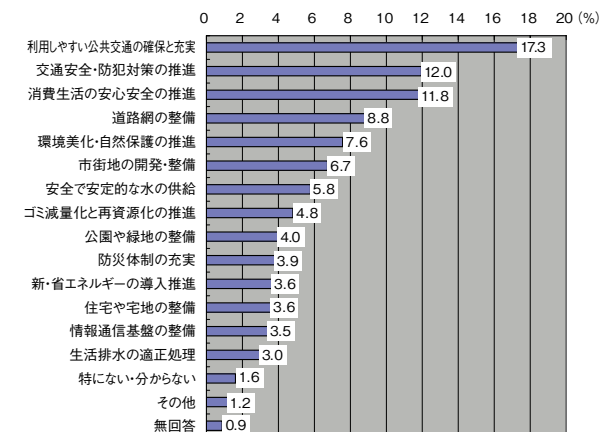
表③【日置市について】



表④【日置市が今後力を入れる分野について】



表⑤【快適な都市づくりについて】



お問い合わせ先
企画課企画調整係

TEL 099-273-2111

(内線 1262)

総務課行政改革推進係

(内線 1206)

の分野で力をいれるべき施策として最も多いのは「利用しやすい公共交通の確保と充実」で次いで「交通安全・防犯対策の推進」、「消費生活の安心安全の推進」となっています。(表⑤)

市としては、今回の調査結果を、総合計画をはじめとする施策の見直しや予算配分の重点化などの判断材料としていきます。

なお調査結果は、市ホームページでもご覧いただけます。

だまされなさい！

春の地域安全運動

日吉地域民生委員・児童委員協議会では年金支給日の四月十五日、振り込め詐欺防止街頭キャンペーンを実施しました。

これは四月六日から二十日まで春の地域安全運動の一環として実施したものです。

当日は、日吉駐在前の県道37号と、二カ所の金融機関で「春の地域安全運動」と「振り込め詐欺防止」のチラシを配布、「振り込め詐欺にだまされないように注意して」と被害防止を呼び



掛けました。顔の见えない相手に個人情報や安易に伝えず、何か不審な点があればすぐに最寄りの警察署に相談しましょう。

産卵シーズンを迎え、浜辺を巡回

ウミガメ保護パトロール開始式

ウミガメ保護パトロールの開始式が五月二十一日、吹上中央公民館で行われ、行政関係者やウミガメ保護監視パトロール団体代表など、四十七人が出席しました。

「今年もウミガメ保護パトロールや、環境保護に協力いただきたい」と県自然保護課長があいさつ。その後、各団体代表に「かめまる君」から監視員の

腕章が手渡され、早速、パトロールに出発しました。

昨年、県下の上陸確認頭数は、五千二百四十三頭。過去の推移からみると高い数値となっており、日置市でも九十七頭の上陸が確認されました。

これから、ウミガメが安心して産卵できるよう、きれいな砂浜を守り、環境保護とウミガメ保護活動に努めたいものです。



地域に根ざした活動で社会福祉を推進

民生委員・児童委員協議会定期総会開催

市民生委員・児童委員協議会第五回定期総会が五月十二日、

中央公民館で開催されました。総会には、市内四地域の民生委員・児童委員百三十八人が参加。民生委員児童委員信条と児童憲章の前文の朗読の後、日ごろの訪問活動やさまざまな支援活動の積極的な意見交換が行われました。

また五月十二日は「民生委員・児童委員の日」として定められていることから、すべての人が安心して暮らせる地域社会と地域福祉への推進を目指して、積極的な取り組みを進めることを決議しました。



たくましくなつて帰郷

自衛隊新入隊者表敬訪問

今年度、日置市から自衛隊へ入隊した三人の隊員が、それぞれの勤務地より帰郷し、四月三十日、宮路市長を表敬訪問しました。

市長は「自衛隊は国防や災害への対応など国民の期待が高まっている。立派に勤め、期待に応えてほしい」と激励。

隊員らは、体力や精神力が向上したことを報告し「今後も、古里への感謝の気持ちを忘れず

に厳しい訓練に耐え、仕事に励みたい」と話しました。



港の楽しさ満喫！

第18回ふるさと港祭り

きれいに晴れ渡った五月三日、江口漁港でふるさと港まつり。



▲見事！秋太郎まるごと1本をゲット

つりが盛大に開催されました。

会場では、乗船体験や地域芸能披露、歌謡ショー、鮮魚販売などさまざまな催しが行われ、多くの家族連れであふれました。

中でも小学生以下の子どもを対象にした、毎年大人気の「魚のつかみ釣り大会」では、子どもたちが特設プールの中に飛び込み大はしゃぎ。用意されたタイやチヌ、タコなどを必死になつて捕まえていました。



▲大きい魚捕まえた！

最後は、秋太郎（バシヨウカジキ）や豪華海産物の当たる抽選会がまつりを締めくくり、来場者は自分の当選を期待しながら発表される番号に大きな歓声とため息があふれ、終日、大勢の人でにぎわいました。

釣果上々、笑顔がはじける

平鹿倉ニジマス釣り大会

廃校となった旧平鹿倉小学校（吹上）のプールを活用した地域づくりイベント「平鹿倉ニジマス釣り大会」が四月二十五日、開催されました。

このニジマス釣り大会は、十一年以上前から開催されているもの。

餌料高騰の関係で昨年からは、釣さお一本当たり千円の入場料で行われていますが、今回も市内外から多くの釣り愛好者や、家族連れが釣りさおを手に駆けつけました。

参加者は、体長二十センチを優に超えるニジマスを次々に釣り上げ、中には一時間余りで持参したクーラーボックスを一杯にする参加者も。

大会のために、平鹿倉青壮年部（田中靖英部長）が昨年の十一月、稚魚二千五百匹を購入、丹精込めて養殖しました。

田中部長は「プールの水の管理に苦労したが、今年も大勢の参加者に楽しんでもらえてよかった」と話しました。



偉人も訪れた薩摩焼きの里を巡る

美山ウォーク



四月二十九日、美山地区（東市来）で美山ウォークが行われました。

このイベントは、古き歴史をもつ史跡や自然豊かな美山を、ゆつくり散策して楽しんでもらおうと、美山地区公民館の主催で行われたものです。

この日は、NPO法人かごしま探検の会の東川隆太郎さんが案内人として参加。江戸時代後期から明治初期に活躍した坂本龍馬や篤姫、小松帯刀など偉人たちと美山との関係について、地域に残る多くの史跡を巡りながらの説明に、参加者は熱心に聞き入っていました。

このほかにも、メイン会場の四百年窯広場において、登り窯



▲熱心に説明を聞く参加者



▲新茶のPRもありました

焚き体験やもちつき大会、窯焼きコンサートなどさまざまなイベントが行われ、大勢の人でにぎわいました。

また十一月に開催される「全国茶サミット鹿兒島大会in日置」のPRも行われました。会場では「お茶と薩摩焼（茶器）との融合」と題し、薩摩焼でのお茶の試飲やお茶クイズ、地元産の新茶販売などもあり、会場を訪れた人は豊かな香りと味を楽しみました。

ゆったりと市場気分を堪能

マルシェ日和*FUKIAGE*

フランスの市場をイメージした「マルシェ日和 FUKIAGE」が五月三十日、吹上温泉イベント広場で開催されました。

これは、多くの人に吹上温泉を知ってもらい、温泉街を活性化しようと同温泉旅館組合が企画したものだ。

雑貨屋、喫茶店、創作アーティストの作品など、二十三店舗が軒を連ねた広場には、大勢の人が訪れ、掘り出し物を探したり用意された天然温泉足湯でのんびりしたり、ゆつくりマルシェを楽しみました。

またステージではバンド演奏や、マレーシアダンスなどのパ



フォーマンスがにぎやかに繰り広げられました。

組合長の池田日道さんは「吹上温泉を知ってもらいたいと気長な気持ちで始めたが、来場者は年々増えている。最近では、若い入浴客も増加しており、今後も温泉街を盛り上げていきたい」と話しました。



豊作願い棒踊り奉納

萩「伊勢神社奉納棒踊り」

萩の伊勢神社（東市来）で五月四日、棒踊り、庭狂言「あtoyama」が奉納されました。

この棒踊りは、二百年も前から伝承されている示現流の護身術から編み出されたもので「ついたちおどり」「チッタオドリ」と呼ばれ、以前は旧暦の六月一日に行われていました。



晴天に恵まれた今年のは、萩、北山、大平、田代、梅木の五自治会の踊り手が六尺棒や鎌などを交えた勇壮な踊りを奉納、豊作と悪疫退散を祈願しました。



踊りの後は、萩集落青壮年部のメンバーらが、おなじみの「水戸黄門」や「遠山の金さん」、「裸の大将」の格好で庭狂言「あtoyama」を熱演。ユーモアあふれる内容で会場を笑いの渦に引き込みました。

小倉で拍手喝采!

湯之元クラブ

東市来地域の湯之元クラブが五月二日、北九州市の小倉競馬場で湯之元の伝統馬事芸能「湯之元馬頭観音馬踊り」を披露しました。

これは、JRA（日本中央競馬会）が馬事振興の一環として各地の競馬場や、場外馬券売り場などで行っているイベントに招待されたもので、県外遠征は

昨年の佐世保に続き二回目。当日は、花飾りできれいに彩

られたシャンシャン馬を先頭におはら節やハンヤ節など六曲の踊りを披露。三味線や太鼓に合わせた馬の軽快なステップとクラブ員の息の合った踊りに大きな拍手が上がりました。

「ほんとうに楽しい踊りだった。今度は鹿児島に行って見てみたい」などと声が上がりました。馬踊りを十分堪能した様子でした。



一番茶の生産加工技術を競う

市荒茶品評会



や内質(香氣、水色、滋味)などを審査。香気を審査するための湯が注がれると、施設内は一番茶のいい香りに包まれました。

審査員からは「今年は、中位以上の物はしっかりと製造されていた。今後は、摘み遅れに気を付け、また、摘採後の生葉の管理にも気を配り、良質な茶の製造に努めていただきたい」と講評がありました。

審査結果は、次のとおりです。
(敬称略)

加工者の部

- 一位 (有)船迫製茶 (伊集院)
- 二位 (有)東製茶 (東市来)
- 三位 (有)池田製茶 (伊集院)

生産者の部

- 一位 善福 俊晴 (伊集院)
- 二位 川路 義輝 (伊集院)
- 三位 重水 郁夫 (東市来)



今春生産された一番茶の品質を競う荒茶品評会が五月二十四日、さつま日置農協茶研修センター(伊集院)で行われました。品評会には加工者の部に二十四点、生産者の部に十八点の出品があり、鹿児島県農業開発総合センターの研究者ら四人の審査員が、外観(形状、色)

農産物の流通力向上に期待

日置南部広域農道安全祈願祭・完工式



日置南部広域農道の安全祈願祭と完工式が五月十八日、花熟里大橋(吹上)で行われ、地元住民や関係者など約百五十人が待望の開通を祝いました。

式では、宮路市長や関係者らがテープカット。地元住民の赤井田榮さん一家(親、子、孫、ひ孫)四世代を先頭に渡り初めが行われました。

同農道は、伊集院町古城から南さつま市金峰町を結ぶ総延長二十一キロ、総事業費約六十二億円。十二年間をかけて完成しま



した。
今後、便利になった道路網を活用した農産物の流通と、地域農業経済の発展に役立つことが期待されます。

多彩な力作が勢ぞろい

池坊流派鹿児島中央支部生け花展

四月二十九日から五月一日までの三日間、国民宿舎吹上砂丘荘で池坊流派鹿児島中央支部「花の散歩道グループ」の生け花展が開催されました。

同グループは、十四人のメンバー全員が吹上在住者。普段から吹上砂丘荘に、ボランティアで生け花を展示しています。

今回の生け花展は、制作から展示まで、すべての作業を会員自らが準備。色とりどりの花を

使った、美しい作品が来場者を魅了しました。

流派の指導者である牧啓子先生は「会員それぞれが、花器や素材を準備して制作しており、個性的な作品が出来上がった。ゆっくり鑑賞して楽しんでほしい」と話しました。

また会員らは「これからも多くの人に、花を楽しんでもらえるような作品を作っていく」と話していました。



力を合わせて漁に挑戦！ 新鮮な魚に舌鼓

わくわくどきどき地引き網体験



日置地区公民館主催の地引き網体験が五月八日、日吉地域の西郷海岸で行われました。

この日は、小・中学生とその保護者や地域住民ら約七十人が参加。網元の指導を受けながら、二手に分かれ、仕掛けておいた網を引き揚げました。

網をたぐり寄せると大漁の魚に子どもたちは大喜び。われ先に魚を手にしていました。

地引き網の後は、日置八幡公民館で生活改善推進員や八幡婦人部が用意したおにぎりや、捕れたてのキスやスズキなど海



の幸を味わいました。

参加した子どもたちは「網が重たくてびっくり張ることができて勢の人と引つ張ることができて楽しかった」、「刺し身やフライがおいしかった」などと話し、充実した一日を過ごしました。

韓国文化を楽しく体験！

韓国文化体験「もつと知ろう！お隣り韓国！」

韓国文化体験イベント「もつと知ろう！お隣り韓国！」が五月十四日、東市来文化交流センターで行われました。

これは、韓国の家庭料理やゲームなどを楽しみながら、お隣の国、韓国を身近に感じてもらうとうと国際交流員の李潯京（リ・ジュンギョン）さんが企画したものです。

参加者は、李さんと韓国語講座受講生の手作りチヂミやトッ

ポキなど本場韓国料理を味わいながら交流を楽しみました。

また食後は、全員で韓国の歴史や文化、生活などに関するクイズ大会や韓国版すごろくの「ユンノリ」が行われ、韓国文化を堪能しました。

参加者らは「ほんとに楽しかった。今後のイベントや料理講座にもぜひ参加したい」と話し、すっかり韓国のとりこになったようです。



読み聞かせで親子連れ魅了

東市来図書館で四月二十四日、「読書の夕べ」

読書の夕べ



が開かれました。この行事は、親子でお話の世界を楽しんでもらおうと「子ども読書の日」にちなんで実施されたものです。

読み聞かせは、地域の読み聞かせボランティアグループ「こけけ読み聞かせたい」の会員が、絵本や紙芝居、紙人形劇などを実演。参加した約百人の親子を、魅力的な物語の世界へ引き込みました。

島津家久公を訪ねて

「燃え萌え！九州武将列伝」撮影

「九州の隠れた武将鍋島直茂VS島津家久」を題材にしたテレビ番組、NHK九州沖縄スペシャルのテレビ取材が五月二十三日と二十四日、吹上地域で行われました。

二十四日は、家久公が生まれた亀丸城跡や吹上浜でのイメージ映像の撮影がありました。

家久公の墓がある永吉地区の梅天寺跡では、南郷会（本田哲郎会長）の会員や地域の皆さんも撮影に参加。墓参りや清掃作業、甲冑姿での回想シーンが、また本田さんらがインタビュアーを受けながら、家久公への思い

を語るシーンなどが撮影されました。

放送は、七月二十三日（金）、NHK総合で二十時からの予定となっています。ぜひご覧ください。



▲梅天寺跡での撮影の様子



みんなでひろげよう! 「元気な市民づくり運動」

子どもの豊かな心をはぐくむために



元気な市民づくり運動
イメージキャラクター
梅太郎

～乳幼児期からの発達支援～

子どもが乳幼児のころ、成長や発達のことですさまざな不安が出てくる場合があります。日置市では、各幼児健診において、子どもの発達に対して相談しやすい体制の充実を図っています。気になることは早めに相談し、一人で抱え込まないことが大切です。

～気になることは相談しよう!～

言葉がゆっくりかな?

友達と上手に遊べないような…

こだわりが見られる

かんしゃくをよく起こして大変…

など

発育・発達がなんだか気になる

落ち着きがないかな?

子どもの健やかな発育・発達を促すための相談・アドバイスを行います。
全地域の1歳半健診、3歳児健診、5歳児歯科検診に臨床心理士（もしくは言語聴覚士）がスタッフとして入ります。
また、ほかにも専門スタッフによる発達相談を行っています。

～子どもの力を信じよう～



子どもは、遊びや生活体験・正しい生活リズムを通して成長、発達していきます。地域には、さまざまな教室や療育の場があります。「ちょっと気になる」ときから活用することで、子どもの力がぐんぐん育ちます。

「療育」って?



少人数での遊びや活動を通して、人とのふれあいを楽しんだり、満足感や意欲、自尊心などを丁寧に育てるところです。
また発達の障がいのある子どもさんだけでなく、「発達がゆっくりかな」「どうかかわればいいのか」と感じるときから利用できるところです。

療育を受けられる場：こどもの家療育クラブ・HAS療育センターなど

子どもの発達にはそれぞれの個性やペースがあります。最も大切なことは、子どもがたくさん愛情の中で、自分らしさを発揮しながら、自信を持って成長できることです。また保護者が子どもの成長を喜びながら、その子らしさを認め、楽しく安心して子育てできることではないでしょうか。

こんにちは 母子保健担当保健師です!



吹上 日吉 東市来 伊集院 の保健師たち

子どもの発達や生活のことなどお気軽にご相談ください。

「元気な市民づくり運動」
啓発用ポロシャツ

啓発スタッフが毎週木曜日に着用しています。

健康づくり活動団体を教えてください!!

今後、「健康情報ひおき」のコーナーでは、地域で健康づくり活動を行っている団体などを紹介していきます。お気軽に情報をお寄せください。

連絡先：本庁 健康保険課 健康増進係 ・ 各支所 市民課 健康保健係



このコーナーに掲載を希望されない方は手続きのときに、お申し出ください。



5月受付分(敬称略)

伊集院地域

(出生児) (保護者) (自治会)

堀 雄星 泰隆 瀬戸内	上村 碧空 郡下	今村 彩菜 弘幸 中福良	坂下 蒼依 洋介 中央通	蓑田 真央 光喜 飯牟礼中	長畠 和麻 健史 郡下	西郷 立進 進平 清藤	前園 心咲 正敬 徳重東	佐藤 文哉 信二 瀬戸内	池水陽菜梨 芳信 天神馬場
-------------	----------	--------------	--------------	---------------	-------------	-------------	--------------	--------------	---------------

日吉地域

(出生児) (保護者) (自治会)

内山 友結 隆一 諏訪

吹上地域

(出生児) (保護者) (自治会)

山崎 響愛 和正 湯之元
松元 希聖 宏樹 新川原
黒葛 絢 秀輝 中津



5月受付分(敬称略)

伊集院地域

(故人) (享年) (自治会)

徳田 正勝 郡内	家村 昭俊 中央通	假屋 郁夫 竹之山	宇都トシエ 向江町	地頭江寅三 野田	東 貞義 徳重東	馬場ヒサエ 郡内	田淵 文章 上土橋	中玉利 操 麦生田	福留モチエ 麦生田	重吉スミ子 寺脇	上 武熊 中川	86	78	94	88	84	90	82	83	90	73	76	84
----------	-----------	-----------	-----------	----------	----------	----------	-----------	-----------	-----------	----------	---------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

東市来地域

(故人) (享年) (自治会)

福田 和男 北山

日吉地域

(故人) (享年) (自治会)

石原 千利 諏訪
平野 政秀 諏訪
森 武志 日置麓

吹上地域

(故人) (享年) (自治会)

横山ハル子 小永吉	八田 哲郎 東本町	川野 末夫 坂元	岩元 重幸 小野浜	池上 耕成 ふもと	西郷 秀雄 今田	永野貴久美 湯之元	山下マリ子 入来浜	上床 光男 瀬谷	七呂 與二 永吉東	船倉 優 西本町	89	83	80	75	53	84	77	75	73	81	80
-----------	-----------	----------	-----------	-----------	----------	-----------	-----------	----------	-----------	----------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

日本脳炎定期予防接種について

日本脳炎ワクチンの定期予防接種について、平成17年から積極的な接種勧奨を差し控えていましたが、平成22年度に3歳になるお子さんを対象に積極的な受診勧奨を再開します。

接種対象者

- 平成22年度において、3歳に到達する方（第1期 初回）（6日～28日までの間隔において2回接種します）
- 平成19年4月2日生まれの方から、3歳到達月の翌月に随時予診票を通知します。

※接種医療機関は予診票に記載してあります。（予防接種の際は、必ず予約をし、母子手帳・予防接種予診票をご持参ください。）

その他

- 今回、積極的に接種勧奨を行う対象者は、平成22年度に3歳になるお子さんですが、7歳6カ月（90月）までの児童で接種をご希望の方も接種は可能ですので、係までお問い合わせください。

※第2期予防接種（9歳から10歳相当）については、現在使用の乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンを接種した場合の有効性・安全性について検討中であり、現時点では実施できません。

【お問い合わせ先】

本 庁 健康保険課保健予防係 電話 273-2111 (内線 1132) 日吉支所 市民課健康保健係 電話 292-2111 (内線 3142)
東市来支所 市民課健康保健係 電話 274-2111 (内線 2135) 吹上支所 市民課健康保健係 電話 296-2111 (内線 4137)



まつだ せいいち
松田 清市さん [81歳]

日吉町吉利 (南区自治会)

● 鹿児島県環境保護推進員

ウミガメの保護を通して命の大切さを伝えたい

「ウミガメを通して命の大切さを伝えていきたい」と、昭和六十三年からウミガメ監視員を始め今年で二十二年目。五月から八月にかけて潮の加減をみながら午後九時ごろから約二時間かけて海岸をパトロールしています。

「ウミガメに遭遇したときは、産卵が終わるまで立ち会います。産卵した卵は波打ち際やタヌキに食べられる恐れがある場合はふ化場へ移しますが、できるだけ自然のままにふ化させたい」と話す言葉からはウミガメに対する愛情が感じられます。

「生物を大切にすることをはぐくんではほしい」と環境教育を兼ねた子ガメの放流も毎年行っており、昨年は、吉利小と日新小で実施しました。「子どもたちが感動している様子を見るのが楽しみ」と話す表情にはうれしさがのぞきます。また地域のスクールガードも務め「おはよう、今日も一日頑張つて」と毎朝、吉利小近くの交差点で児童に明るく声を掛けながら、子どもたちの安全を温かく見守っている松田さん。子ガメの放流を通して、顔見知りも多く、子どもたち親子に親しまれてきました。「気軽にあいさつしてくれることはもちろん、学校や友達のことなど話してくれる児童もいます」とこりこり。子どもたちからもらった、感謝の寄せ書きや手紙は大切な宝物です。

「自分ももう八十一歳、そろそろ後継者を見つけないと、まだまだ元気なうちは、地域や子どもたちのために頑張つて続けていきたいです」



有馬 虎太郎くん (1歳11カ月)

父 信一さん 母 真美さん
(日吉町日置)

■おかあさんから

今は甘えん坊の虎太郎君。元気いっぱい
いの男の子になってね!

わんぱく直送便



奥 菜々子ちゃん (6才9カ月)
日菜乃ちゃん (5歳6カ月)

父 章一郎さん 母 いづみさん
(伊集院町猪鹿倉)

■おかあさんから

ななたんは、ピカピカの1年生。ひな
たんは、年長さん。これからも二人なか
よく元気いっばいに育ててください。パ
パ、ママ、ジイジ、バアバも二人のこと
が大好きです。

元気のある
お子さんの写真を
募集しています。

市内に在住の6歳以下のお子さん
①氏名②生年月日③保護者氏名④お子さんの近況⑤お子さんへのコメント
⑥広報へのご意見⑥連絡先を添えて、市役所総務企画部企画課(住所は
末)までお送りください。



ギャラリー 私の作品展

『似顔絵』

とよつじ 豊辻 のぶゆき 統之さん(54歳) 東市来町長里

「似顔絵は、スピーディーに人を楽しませることができると話す豊辻さん。似顔絵を始めたのは、高校時代に月刊誌に投稿した作品が掲載されたことがきっかけでした。作品が新聞や雑誌に掲載されることが楽しみと、今でも投稿を続けています。「2年ほど前、週刊誌の似顔絵コーナーで1席になったことを機に、一人で楽しむよりも多くの人に喜びを感じてほしいと、昨年から公民館講座を開講しました」と笑顔を見せます。いつでもどこでも紙と鉛筆さえあれば、想像・直感・洞察力も養える似顔絵。「将来は個展を開きたいが、まだまだ先のこと。これからも人生をユーモラスにデフォルメしながら続けていきたいです」



ウォッチまちの文化財 60

島津義久と亀丸城跡（戦国島津氏④）

島津本家 16代当主義久は、弟の義弘達を率い、島津氏の悲願であった三州（薩摩・大隅・日向）統一を果たし、さらに九州のほとんどを支配下に治めました。

義久は、1533年に現在の吹上地域にある亀丸城（伊作城本丸）で生まれ、1566年に父の貴久の後を継ぎ、島津本家当主となりました。当時の島津本家は薩摩半島では最大の勢力でしたが、三州には島津本家と敵対する勢力が多くいました。

義久は同じく亀丸城で生まれた弟の義弘・歳久・家久を率い、薩摩・大隅の敵対勢力や、日向の大部分を支配する伊東氏と戦いました。1570年には薩摩の敵対勢力を制圧。1574年に大隅を制圧し、1577年には伊東氏を日向から追放、島津氏の念願であった三州統一を果たしました。

その後、島津氏は九州各地に進出し、九州の大半を支配します。豊臣秀吉に敗れ領地は薩摩、大隅と日向の一部に削られますが、これが江戸時代の薩摩藩の基礎となりました。



亀丸城跡

Access

車で、本庁から35分、吹上支所から5分



人を助ける仕事がしたい

土橋小学校

六年

宮下

聖樹くん

多くの将来の夢は、弁護士になることです。あるテレビ番組で弁護士のことが取り上げられていました。その中で、人の話を聞いたり相談に乗ったりしている姿を見て、弁護士というのは「人を守る」という仕事なんだと思うようになりました。ぼくは、人を助けたり人のためになる仕事かと思うようになりました。だから、弁護士という仕事にあこがれるようになりました。

これから先、中学校、高校、大学と進んでもこの夢は変わらなと思います。そして、勉強や運動をがんばることは、きっと人を助ける仕事につながると思います。これからは、た



鹿児島県日置市

市の人口(住民基本台帳)

総人口	51,813人(△6)
男	24,269人(△7)
女	27,544人()
世帯数	22,576()
6月1日現在()は前月比	
東市来地域	12,739人
伊集院地域	24,518人
日吉地域	5,480人
吹上地域	9,076人

市の面積 253.06km²

今月の表紙



「田んぼの中にダイビング」

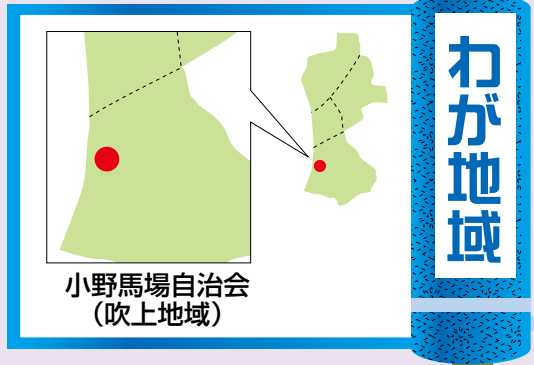
待ちに待った「どろんこ大会」。元気いっぱい子どもたちは、声を張り上げ、全身泥だらけになりながら、駆けっこやドッジボール、そして、せつべとべを楽しみました。「子どもせつべとべどろんこ大会」(日吉地域)詳しくは次号でお知らせします。

No.62 平成22年6月号

発行/日置市役所
 総務企画部企画課
 〒899-2592
 日置市伊集院町第一丁目100番地
TEL 099 (273) 2111
FAX 099 (273) 3063
 東市来支所
TEL 099 (274) 2111
 日吉支所
TEL 099 (292) 2111
 吹上支所
TEL 099 (296) 2111

<http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

吹上浜のほぼ中心に位置し、花田地区を形成する七自治会(亀原・花熟里・小野浜・小野馬場・小野・下田尻・中田尻)の一つ小野馬場自治会。平成二十二年六月一日現在で四百二十世帯、八百五十七人が暮らしています。少子高齢化が進んでいます。豊かな自然と生活環境に恵まれた住みよい地域です。また、毎年、八月十八日に行われる「六月燈」は、地域の大切な伝統行事です。



わが地域

小野馬場自治会(吹上地域)



▲伝統行事「六月燈」の回り灯籠



▲幾留和夫会長

おのぼば 小野馬場自治会(吹上地域) 歴史と伝統を継承し、だれもが住みたくくなるような地域



▲和気あいあいと楽しむグラウンドゴルフ大会

自 治会活動を行うに当たっては、住民の意向を反映させるため、評議員会を行いながら実施しています。
毎 年、八月十八日に小野馬場神社で行われる六月燈は、地域の伝統行事。準備は一カ月前から取り掛かります。この作業の中で一番重要な作

十 五夜行事も、毎年行う行事の一つ。子どもが少なくなりましたが、自治会の伝統行事として残していこうと思っています。
平 成二十年には、コミュニティ助成事業で多目的広場



▲健康づくりと美化活動(ウォーキング大会)

業は、灯籠(とうろう)作り、花ヅルと呼ばれる灯籠を一基、中の絵が回転する回り灯籠を八基作ることです。
 灯籠は、外側の四面和紙を透かして彫っていく技法が難しく、これができるのは地域にも数人しかいません。今は、壮年部がこの技を学びながら制作しています。

自 然が多く残り、生活環境に恵まれた小野馬場自治会。少子高齢化などの問題もありますが、これからも、歴史や伝統行事を守り、子どもから高齢者まで、だれもがここにきてよかった、住んでよかったと思える地域にしていきたいです。

今 年の四月からは、新しく自治会内にできた、福祉施設の入居者に対し、声かけ活動を始めました。これは女性部が中心となって毎月行っているもので、施設関係者や入居者に大変喜ばれています。
 健康増進と環境美化を兼ねたウォーキング大会も年三回行い、公民館から「かめまる館」までの自転車道を、空き缶やゴミなどを拾いながら歩きます。
 の整備と自治会活動を推進するための設備を購入しました。このとき整備した、多目的広場を使ったグラウンドゴルフ大会は年三回実施、子どもから高齢者まで大勢が参加し、大好評です。